

第21回 IUHPE 世界会議（2013年タイ王国パタヤ）の概要

衛藤 隆^{*1,*2}

ヘルスプロモーション・健康教育国際連合（以下、IUHPE）の第21回世界会議が2013年8月25日～29日、タイ王国パタヤ市にて開催された。この会議は3年に1回開かれ、アジアで開催されるのは第15回の日本（幕張）に続き2回目である。今回の会議の主題は「健康のための最良の投資」（Best investments for health）であった。地球上の様々な地域や国において健康政策を展開する上で問題となる貧困、社会格差、資源不足、行政機構の硬直化等の状況の下で、科学的な根拠を基礎に健康の社会的決定因子に特に着目してその打開策を検討するということを主眼に、投資のあり方を問うたものといえる。

今回の会議の開催にあたり、その実行委員会を担ったタイ健康推進財団（Thai Health Promotion Foundation, 通称“ThaiHealth”）は理事長が総理大臣、副理事長が保健大臣と財務大臣が務める政府と密接な関係にある組織である。会場は、パタヤ展示・会議ホール（PEACH）で、隣接してホテルが3つあり、全体がロイヤルクリフホテルリゾートとよばれる外部とは区切られたゾーンを形成していた。周辺の別のホテルに滞在している人々にはシャトルバスが用意された。

会議は8月25日夕方の開会式から始まったが、その日の午前中は関連行事としての各種施設・組

織・活動の見学が複数用意され、あらかじめ申し込んだ参加者が思い思いの場所に主催者が用意したバスにて出かけていった。私はバンコクにある“ThaiHealth”の本部を見学するツアーに参加し、この組織体の概要を理解する機会を得た。

25日夕刻から開かれた開会式およびパーティは大変趣向をこらした立派なものであった。影絵を用いたパフォーマンスは近代社会の富の追求優先の生活がいかに健康を蝕んできたかを表現したわかりやすいものであった。主催者挨拶、IUHPE会長挨拶等の開会行事の後のパーティはバイキング式の立派なものであった。この会議全体を通じ、禁煙・禁酒が貫かれた。

26日から29日にかけて本会議、準本会議、一般発表（口演およびポスター）が繰りひろげられた。26日から28日までは毎朝最初の90分は本会議（Plenary Session）が配置された。「人々のための健康・福祉への最良の投資とは？（What are the Best Investments for Health and the Well-being of People?）」、「健康増進システムのためにどれほど投資してきただろうか？いつになったら十分といえるのか？既に十分か？（How Far Have We Invested in Health Promotion Systems? When Is It Enough? Is It Ever Enough?）」、「すべての政策におけるヘルスプロモーションを展開する上で成功事例と課題は？障壁、普遍的課題、そして差異を見てみよう。（Promoting Health in All Policies: Successes and Challenges? Looking at Barriers, Common Lessons and Differences）」の3つが取り上げられた。また、29日は午前中の後半に「実践表彰におけるヘルスプロモーション（Health Promotion in Practice Awards）」が取り上げられた。

*1 日本健康教育学会・理事長

*2 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所・所長

連絡先：衛藤 隆

住所：〒106-8580 東京都港区南麻布5-6-8

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所

E-mail：eto-t@aiku.or.jp

29日午後はIUHPEフォーラムが開催され、IUHPE会長にMichael Sparks氏が再選されたことや次回の会議開催地候補の2つの都市（南アフリカのダーバン市とブラジルのクリチバ市）の紹介がなされた。この時点では次回開催地は決定に至らず、12月初旬のパリにおけるIUHPE理事会における投票により最終的にブラジルのクリチバ

市（Curitiba）に決定した。

なお、付随行事は複数行われたがIUHPE本部の関係では、総会、理事会が開かれ、日本が属するIUHPE西太平洋北部地区（NPWP）の会議も会期中に開催された。

（受付 2013.12.31.；受理 2014.1.16.）